

たかお治久

後援会
会報

No.21

■発行日／平成29年1月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

新年明けましておめでとうございます。年末年始、皆様いかが過ごされましたでしょうか？

故郷に帰省された方、ご家族とゆっくり過ごされた方もおられると思いますが、私の先輩、後輩、同僚には、この期間も仕事をしていた方が多数おられ、様々な形で社会を支えてくれている多くの方々に先ずは感謝したいと思います。今年も“心晴れやかな暮らし”を実感できる社会の実現をめざし、精一杯活動をしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1. 明風会 会派要望 提出

昨年11月、私が代表を務める会派（明風会）より、次年度以降の高砂市政への反映を求め《会派要望》という形で提出いたしましたので、その内容について報告させていただきます。

（会派要望とは市議会議員で構成する会派より次年度以降の施策への反映を期待して、必要と考える政策を会派の意思として要望するものです。）



明風会：左から島津明香議員、たかお治久、石崎徹議員

① 今回提出した新規要望

1. 景観に配慮したまちづくり

主要な公共施設（庁舎・図書館・運動公園・文化会館など）周辺は特に景観に配慮したまちづくりをお願いしました。人が住んで誇りを持てる様にするには、街がどうあるべきか、先ず行政に出来ることとして、具体的には、周辺環境も含めた自然との調和、老朽化への細やかな対応等、利用する人は勿論、施設周辺を通過する人が快適と感じる景観創りを行うことが必要と考えます。

2. 成人式の充実

毎年新春に高砂文化会館で開催される成人式。現在は、主催者、来賓などの挨拶や成人代表による誓いの言葉のみの形式的な式典で形骸化しているように捉えています。次代を担う若者達にとってより有意義な式典となることを期待しての要望です。

3. 広域化に向けたゴミ収集車への安全管理システムの導入（ドライブレコーダーなど）

平成34年4月、高砂市に稼動する広域ゴミ処理施設。稼動後は2市2町のゴミ収集車が当該施設を往来します。現在高砂市が運行させている収集車にはドライブレコーダーが搭載されており、一定の効果があると認識しております。今後、他市町のごみ収集車にも同様の搭載を望んでの要望です。

4. スポーツ施設の事故防止対策（日射病・熱中症予防など）

例えば向島多目的グラウンドの北側エリア、総合運動公園の多目的広場などでは直射日光を避ける施設が無い状況です。日射病、熱中症対策など具体的市民ニーズを把握しての要望です。

5. 健康増進への取組み

現在の高砂市の国民健康保険事業は他の多くの自治体同様、医療費総額が年々増加しています。また健康寿命を如何に伸ばすかは全ての人に該当する課題と捉えています。具体的に医療費低減が成果として出ている民間事業者のノウハウ導入を望んでの要望です。

2 従来からの継続要望

施設の維持管理について

『公共施設等総合管理計画』策定の際も含め、施設の運営評価については、アンケート等の書面調査だけでなく、実際に利用されている方々の生の声を聞けるような評価を定期的に行なう仕組みの導入を要望。

人事・給与制度の研究について

高砂市発展の為に、職員の方々がよりモチベーションを高めて働ける人事・給与制度にしていく必要があるとの考えに基づく要望。

戦略的・体系的な観光施策について

市の観光施策の全体が把握できる計画の策定を望むとともに、観光交流ビューローとも連携し、イベント情報の広報や市全体の観光（高砂町や生石神社、高御位山など）について戦略的な事業実施を行うことを要望。

街づくりについて

現在県に委ねている開発指導許可権限を当市が取得することでより高砂市に相応しいまちづくりが出来ると考えての要望。

公園や街路樹の管理について

公園や街路樹は町並みを構成する重要な要素です。その維持管理が事足りていないとの認識に立ち委託方法の再検討と責任ある維持管理の為に必要なこととして現場での「責任者の表示」を要望。

安全な道路環境整備について

市内道路には未だ幾つもの危険箇所があります。安心して家族を送り出せる安全な道路環境整備はまちづくりの基本であり必須と考えての要望。

JR宝殿駅（南東）駐輪場の整備について

宝殿駅南東駐輪場は平日の昼頃には非常に乱雑な状況となり無料とはいえ利用者が大変不便を感じています。この土地の所有者は高砂市単独ではなく、課題解決に向け関係する他市と積極的な協議を行って頂きたいとの要望。

男女共同参画事業の見直しについて

既に実施している事業の狙いを明確にし、本当に必要な人に届く企画・事業運営を行って頂きたいとの要望。

学校教育における加配制度の充実について

ニーズの多様化等で多忙を極める教諭がより充実した教育が出来るように現場事情に合わせた補助教員の配置を要望。

学校等における主権者教育の充実について

次代を担う若者たちに「自分達が高砂市を担う主役（主権者）であること」の自覚を促す教育の充実を要望。

2. 12月定例議会（概要報告&トピックス）

高砂市議会 12 月定例議会（12 月 2 日～ 21 日）で議決された主な事業につき、以下の通りご報告させていただきます。

1 公共施設の指定管理者（平成 29 年度から 5 年間）が決定

公共施設名	指定管理者	指定管理料（年間）	備考
青年の家	シンコースポーツ・清光社共同事業体	約 2,000 万円	高砂漁業協同組合から変更
斎場	株式会社五輪	約 6,000 万円	継続して運営
生石研修センター	高砂市勤労福祉財団	約 1,300 万円	随意契約にて継続指定

※指定管理者の収入は上記指定管理料と利用料金であり、これで施設の運営を担って頂きます。

私の主張



青年の家、生石研修センター共に利用率の低さが課題。一部の施設利用料見直しも検討するとのことですが、ニーズとのミスマッチも考えられ今後はその在り方を議論する時に来ていると思います。



青年の家



生石研修センター

2 一般会計補正予算（概要）

（単位：千円）

予算の出所・金額					
今回の補正対象事業名等	事業の概要	補正金額	市の負担率	市	市以外（県・国等）
臨時福祉給付金 給付事業	低所得者への給付（1.5万円／人）	7,367	0%	0	7,367
ひょうご多子世帯保育料軽減事業	第2子以降の保育料軽減策	6,729	60%	4,050	2,679
ため池改修事業	阿弥陀大池 堤体漏水対策	5,460	85%	4,660	800
高砂・堀川周辺地区整備事業	まち歩き拠点としての駐車場用地費	32,699	100%	32,699	0
河川改良事業	松村川浚渫・護岸工事等	141,000	74%	104,000	37,000
中筋住宅建設事業	中筋に鉄筋3階建（H30 完成）	452,805	65%	292,805	160,000
まちづくり推進事業	明姫幹線南地区まちづくりへの助成	200	100%	200	0
文化会館施設整備事業	空調・トイレ・防水工事	36,426	100%	36,426	0
後期高齢者医療費過年度負担金	前年度分清算に伴う追加負担	8,622	100%	8,622	0
小学校大規模改修	曾根・米西小の教員・来客トイレ改修	20,952	70%	14,699	6,253
中学校大規模改修	荒井・竜中の教員・来客トイレ改修	20,628	75%	15,372	5,256
人件費	職員・議員・市長らの人件費増	43,407	0%	0	0
その他増減		-50,065			
今回の補正総額		726,230			

一般会計総額は、今回の補正により 35,858,890（千円）。借金（地方債）残高 33,933,378（千円）、貯金 2,520,107（千円）

3 トピックス

1）議案修正動議

上記一般会計補正予算に関し、最初の市長提案では「幼児教育保育料軽減事業*」（46,066 千円、財源は市単独）が含まれていました。

しかし本件について本会議質疑で「助成金が課税対象になるのか否かが不明」との状況が判明し審議を受け付けず、議員全員による修正動議が出され、今補正予算対象から外されました。

2）高砂・堀川周辺整備事業

意見を付けて賛成。
今回の補正予算では高砂町のまち歩き拠点として駐車場を設ける為の用地取得費が可決されました。



まち歩き拠点事業は、今回用地取得する駐車場と今後改修が行われる工築家旧宅（工築家が高砂市に寄付）との一体的事業であり、また松右衛門帆を復元し事業を展開するNPO法人高砂物産協会（以下物産協会）とも密接な関わりがあると捉えています。

ところが現時点では工築家と物産協会との間には訴訟問題（原告：工築家）も起こり今後のまち歩き事業の発展を考えた場合には支障が出るのではないかと懸念し、今般の予算執行に当たっては高砂市、工築家、物産協会が意思疎通を図った上で執行して頂きたいとの意見を付し賛成いたしました。



当局との質疑の中では「課税対象にならない仕組みを作る」との答弁がありましたが、私としては「課税対象か否かすら詰められていない未成熟な議案？」と考え、修正動議に賛成いたしました。

※目的：子育て家庭の経済的負担軽減等
事業概要：幼稚園・保育園・こども園に通う4・5歳児を対象に保育料の1/2を助成

3）広域ごみ処理施設建設・運營業務委託（20 年間）の契約を可決

応募者	荏原環境プラント(株)	(株)神鋼環境ソリューション	三菱重工・化学エンジニアリング(株)
①非価格要素審査点	191.75 点	186.25 点	198.25 点
②価格審査点	178.66 点	200 点	160.84 点
（提案価格：税抜）	(38,680,000 千円)	(34,552,152 千円)	(42,965,600 千円)
	370.410 点	386.250 点	359.090 点

高砂市梅井に建設する広域ごみ処理施設（平成 34 年稼働予定）につき、建設・運営管理に関する契約を上記最高得点であった(株)神鋼環境ソリューション及び特定目的会社と締結することが可決されました。

3. 平成28年10月～12月の主な活動

10月



- 『たかお治久後援会会報（NO.20）』の作成と配布
支援者の協力で円滑な配布が出来ていることに深く感謝。
- 次年度予算に対する会派要望検討開始。
「今高砂市に何が必要か」、会派メンバーで検討。
- 会派活動報告会（11月18日）に向け資料準備。
第3回を迎えた会派報告会、準備には慣れてきたもののまだまだ質を上げたいと試行錯誤中。継続的に実施していくことは間違いありませんので、よろしくお願いします。

秋祭り真っ盛りの10月。現在私は自分の住む地域の自治会（島町内会：世帯数1200強）にて副会長をさせて頂いております。平成28年は生石神社秋季例大祭の当番町であったこともあり、週末毎に集い、地元の方々と一緒になって取り組みました。勿論例年の通り、カネカ社宅の神輿に同行し高砂神社秋祭りにも参加させて頂きました。

11月



- 行政視察（11月7・8日）：福岡県うきは市と八女市（テーマ「まちなみ保存」）
建設環境経済常任委員会として、町並み保存の先進事例を視察。腰を据えての取組、地元の理解・協力等、成功への鍵が幾つもありました。「我らも頑張らなければ!」
- 『後援会会報（NO.20）』、市内6駅で早朝配布。
仕事をもつ仲間が早朝から協力してくれることに感謝。
- 会派での活動報告会（11月18日18時半～於：ユアアイ帆っとセンター 31名出席）
まだまだ密度の濃い内容にしていきたいと考えています。



12月



- 12月2日～21日まで定例議会。
- 『たかお治久後援会会報（NO.21）』の作成。

4. たかお治久の情報発信

世界情勢は今年の米国大統領の交代等を背景にこれまでの流れでは予想のつかない状況にあると思いますが、日々の生活の中では、周囲の環境変化を見極め、しっかりと自分の果たす役割を全うすることが大切と思っています。

皆様には中々関心をもって頂けない地方政治ではありますが、地方議会こそ皆様にとりましてもっとも身近な政治との接点であり、私としましては、少しでも高砂市政、議会の動きを理解して頂く様、本年も継続して下記の通り情報発信をしていきたいと考えています。



1. 『たかお治久後援会会報』（年4回発行）

2. 市政報告会（個人報告会：1回／年、会派報告会：1～2回／年）

3. インターネット（ブログ）による活動報告 6回／週 ➡

<http://blog.goo.ne.jp/takao2233>



ブログへアクセス！

今年が皆様にとりましてより素晴らしい年になることを祈念しています。

<鷹尾治久後援会役員>

会長：渡邊登 副会長：北野光昭 松谷敏道 荒田修 西本裕行 幹事：吉田淳二 会計：松森 翔平 監査：和住真宏

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所／TEL.079-445-2395（カネカ労働組合高砂支部内）